

# 第6回 生きる力を育む 書道作品展

～希会(のぞみかい)～

第6回 生きる力を育む 書道作品展

希会(のぞみかい)

入場無料

春よ、来い

淡き光立つ俄雨愛し面影の沈丁花 溢るる涙の昔からひとつひとつ香り始める

それはそれは空を越えて やがてやがて迎える 春よ遠き春よ 臉閉じればそこに 愛をくれし君のなつかしき声がある

『希会』は身体に障害を持つ人やその家族が、書道を通して 生きる喜び、生きる感動を分かち合いたいという願いから発足し、毎月のお稽古に励んでいます

『尼崎市自発的活動支援事業』対象事業

生

期途中、3月17日(日)午後2時～

『民話と詩の朗読会』を開催します (高橋健貴士 釈権智子先生)



# 希会とは

【設立】 令和元年

【会員数】 16人

【目的】 心身に障害を持つ者およびその家族、また一般市民同士の情報交換や自己の成長と思いやりの活動の推進。

【事業】 ・月1回の例会（お習字の学習と親睦会）  
・年1回の総会  
・年1回の書道作品展の開催 など

# 「第6回 生きる力を育む 書道作品展」について

【内容】 毎月の書道作品及び今回の作品展テーマに合わせた全員寄せ書きの作品の展示発表

【日程】 令和6年 3月14日(木)～3月18日(月)

【場所】 尼崎市総合文化センター ギャラリーアルカニック

【広報】 案内はがき、チラシ、総合文化センターのHPなど

【対象者】 障害者、その家族、市民

【参加者数】 延べ162人

(うち、障害者45人、その家族35人、地域住民等82人)

# 「第6回 生きる力を育む 書道作品展」について

## 【実施目的】

一人一人が心を込めて仕上げた作品を通じ、誰もが生きる喜びや感動を感じて頂くこと。



## 【今回の作品展テーマ】

平和で暖かな春の到来を待つ気持ちを、松任谷由実さん「春よ、来い」の歌詞に込めて皆で寄書きしました。



## 【新たな試み】

言語聴覚士の先生による「民話と詩の朗読会」を実施し、新たな活動を試みました。



# 「第6回 生きる力を育む 書道作品展」について

## 【効果】

毎年の作品展の継続により、多くの障害者、家族、一般市民に向けて、障害の有無や年齢性別に関わらず、生きる喜び、感動を分かち合うという活動の趣旨の理解を深める効果が得られました。

